

第五回「WHO世界自殺予防デー」シンポジウム ～自殺のない「生き心地の良い社会」をめざして～  
- NPO法人 自殺対策支援センター ライフリンク -

◎日時 2009年9月6日(日) 12時00分(開場) 13時00分(開演)～17時30分

◎場所 東京ビッグサイト 国際会議場 (東京都江東区有明3-21-1)  
※1000人収容

◎入場 無料(事前申し込みが必要です)

◎次第(予定)  
■オープニング他  
■第一部「自殺対策のヒントを探れ！」  
「自殺者ゼロの町」からの報告  
「自殺が急減した自治体」からの報告  
「自殺対策都市型ネットワーク」のモデル提案  
■第二部「自殺のない“生き心地の良い社会”を創るために」  
～他分野の専門家によるトークセッション～

・ 姜尚中さん(東京大学大学院教授・政治学) 宮台真司さん(首都大学東京教授・社会学)  
・ 町永俊雄さん(NHKキャスター・報道) 清水康之(NPO法人ライフリンク代表・市民活動)  
・ 他(交渉中)

◎申込方法  
・ 事前のお申し込みが必要です。お申し込み内容にもとづいて、事務局にて「入場券」を発行します。(8月中旬以降、順次郵送します)当日は、「入場券」を必ず持参してください。(会場入口でチェックさせていただきます)  
・ メール、FAX、電話、ハガキのいずれの方法でも結構ですので、次の内容をお知らせください。  
①氏名 ②住所(〒) ③電話番号  
④どうやってこのイベントを知ったか[例:HP/マスコミ/メール案内/知人/その他]  
⑤(差し支えなければ)お立場[行政/民間団体/医療関係者/学校関係者/一般/その他]  
・ 「入場券」(ハガキ)を発行し、お知らせいただいた住所(②のこと)に8月中旬以降、順次郵送いたします。

◎申し込み・問い合わせ  
NPO法人ライフリンク 第五回「WHO世界自殺予防デー」係  
〒102-0071 東京都千代田区富士見2-3-1 信幸ビル302  
[TEL] 03-3261-4934 (平日10:00～20:00) [FAX] 03-3261-4930 [Eメール] info@lifelink.or.jp

【ボランティアみさと】は、こちらで入手できます。

三郷市ボランティアセンター、市内公共施設のほか……

- | 三郷駅周辺 | みさと書房(三郷市三郷1-1-10)、みさと書房北口店(三郷市早稲田2-2-6)  
亀有信用金庫三郷駅前支店(三郷市三郷2-20-1)、川の郷福祉会(三郷市早稲田1-11-13)  
カーブスワオシティ三郷(三郷市三郷1-3-1 ワオシティ三郷2F)
- | 幸房・谷中・谷口周辺 | 特別養護老人ホーム小鳩園(三郷市幸房680)、ドコモショップ三郷店(三郷市幸房131-1)  
亀有信用金庫早稲田支店(三郷市谷口631-3)、三郷郵便局(三郷市谷中14-9)
- | 新和・栄周辺 | 特定非営利活動法人ひまわりの家(三郷市新和4-562-3)、工房風のうた(三郷市新和4-601)  
埼玉みさと総合リハビリテーション病院(三郷市新和5-207)
- | 新三郷駅周辺 | 介護老人保健施設三郷ケアセンター(三郷市南蓮沼260-2)、みどりの風(三郷市半田1212-2)
- | 天神周辺 | イトーヨーカドー三郷店(三郷市天神2-22)
- | 田中新田周辺 | コミュニティスペース・パーソナルサポート青いそら(三郷市田中新田375-18)
- | 鷹野周辺 | ブックスたかの(三郷市鷹野3-14)
- | 戸ヶ崎周辺 | 地域包括支援センターみさと南(三郷市戸ヶ崎1-568-1)  
亀有信用金庫三郷支店(三郷市戸ヶ崎2-285)、三郷前谷支店(三郷市戸ヶ崎3-116-2)
- | 高州周辺 | 亀有信用金庫高州支店(三郷市高州1-291-1)



# Volunteer Misato 08

2009  
No.88

## ボランティアみさと

<http://www.misato-syakyo.or.jp/vc/>

### Contents

インフォメーション特集号



△この日は、すいか割りをしていました。  
園児たちの後、庄林君も参加。  
「ガンバレ」と園児たちから大きな声援が。

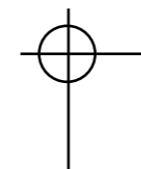


### ※彩の国ボランティア体験プログラム事業実施中!～つながる夏&ボランティア～※

夏休みにボランティア体験しよう!という「彩の国ボランティア体験プログラム」事業に86人のかたたちから申し込みがあり、現在、市内のさまざまな施設・団体等で活動中です。

参加者の一人の庄林君(高校3年生)は、かつて通っていたこともある戸ヶ崎保育所で活動しました。活動した感想を聞くと「楽しかったです。子どもたちもなついてくれるし。今回、参加してよかったです!」とのことでした。

子どもたちからも「お兄ちゃん～」と慕われ、笑顔で遊ぶ姿が印象的でした。



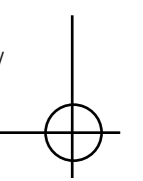
【発行】 三郷市ボランティアセンター(三郷市社会福祉協議会内)

〒341-0041 埼玉県三郷市花和田638-1 三郷市健康福祉会館5階

【Tel】 048-953-4191 【Fax】 048-953-4192

【E-mail】 mvc@misato-syakyo.or.jp 【Web】 <http://www.misato-syakyo.or.jp/vc/>

【開所時間】 午前8時30分～午後5時15分 月～金曜日(祝日除く)



第13回ボランティア・スピリット賞（アワード）応募受付中！  
- ボランティア・スピリット・アワード事務局 -

「ボランティア・スピリット・アワード」は、米国最大級の金融サービス機関プルデンシャル・ファイナンシャルが95年からアメリカにて開始した青少年を対象としたボランティアを支援する制度です。現在ではアメリカ、日本、韓国、台湾、アイルランドで開催されています。

12歳から18歳までの青少年のさまざまなボランティア活動を支援するのが、「ボランティア・スピリット・アワード」です。この賞は、活動に対して優劣をつけるためのものではなく、賞を通してボランティア活動について情報交換できる場を提供し、ボランティアに気軽に自然に取り組めるような社会環境を創ることを目指しています。

- ◎**応募内容**  
ボランティア活動に参加して、感じたこと、学んだことなどを応募用紙の項目に沿ってご記入ください。地域社会に貢献する活動なら、活動分野は問いません。
- ◎**対象活動期間**  
2008年4月以降に行われた（行われている）活動であること
- ◎**対象**
  - ◆ボランティア活動をしている個人またはグループが応募できます。
  - ◆個人応募の場合は、応募締切時（2009年9月18日）に12歳以上18歳以下であること。
  - ◆グループ応募の場合は、構成メンバーが中高生のグループであること。なお、同じグループから複数の方がご応募される場合は「個人応募」としてご応募ください。
  - ◆何度でも応募できます。過去に受賞歴のある方でも連続受賞が可能です。
- ◎**応募締切**  
2009年9月18日（金）必着
- ◎**各賞について**  
コミュニティ賞、ブロック賞などがあります。賞の詳細については、ホームページをご覧ください。
- ◎**応募方法**  
応募フォーム、または所定の応募用紙に必要事項をご記入のうえ、応募してください。ホームページ上にあるフォーム及び所定の応募用紙以外による応募はできません。詳細は、ホームページをご覧ください。
- ◎**問い合わせ・応募用紙送付先**  
ボランティア・スピリット賞事務局（応募係）  
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-10 プルデンシャルタワー14F  
[TEL] 03-5501-5364 [Eメール] mail@vspirit.jp  
[WEB] http://www.vspirit.jp

成年後見制度 ～ご存知ですか？街で安心して暮らしていくために～  
- 埼玉県手をつなぐ育成会 三郷市わらべ会 -

- ◎**日時**  
9月11日（金）午前10時30分～正午
- ◎**場所**  
三郷市文化会館2階大会議室（三郷市早稲田5-4-1）
- ◎**内容**  
～元気なうちに考えておきたいこと～「川島志保弁護士に聞く」  
講師：川島志保氏（川島法律事務所）
- ◎**問い合わせ**  
埼玉県手をつなぐ育成会 三郷市わらべ会 担当：工藤  
[TEL] 048-958-9037（留守電あり）
- ◎**参加費**  
500円（資料代、わらべ会会員は無料）

第46回発達障害福祉月間 - 社団法人 日本発達障害福祉連盟 -  
～『いま、発達障害が増えているのか～その実態と理由、新たなニーズを探る～』～

過去6年間において、特別支援教育を受ける児童生徒数が急速に伸びており、その増加数は、毎年1万人を超えています。たとえば200人規模の特別支援学校でいえば、毎年50校の新設が必要となります。実際に教室不足の現状が、マスコミでも大きく取り上げられました。学校卒業後の福祉施設の整備も急務となり、全国で作業所など数百ヶ所が、毎年必要になると見込まれます。一方で、視覚障がい・聴覚障がい特別支援学校の児童生徒数は半減しています。この減少は出生率に比例しています。ところが知的障がいのみが、出生率の低下にも関わらず増加を続けているのです。

この背景には、知的障がいも含め、発達障がいへの理解の高まりがあると考えられます。このほかにも、障がいそのものの発生率の増加、育児環境の悪化、特別支援教育への期待の高まりなども考えられています。今回の月間セミナーでは、医学、教育、福祉の3分野からその実態を明らかにするとともに、増加の原因や対応策について言及します。

- ◎**日時**  
9月5日（土）午後0時50分～4時50分（午後0時20分開場）
- ◎**場所**  
早稲田大学18号館国際会議場井深大記念ホール（新宿区西早稲田1-6-1）  
（http://www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html）
- ◎**内容**  
午後0時50分～1時 開会挨拶
- 第一部：障害のある子増加について、実情や対応  
石塚 謙二（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官）  
未定（厚生労働省社会・援護局障害福祉課担当官）
- 第二部：いま、発達障害が増えているのか・・・その理由と実態、新たなニーズを探る・・・  
「報告～医療面を中心に～」(石崎 朝世：(社)発達協会王子クリニック)  
「発達障害のある子への臨床からみた障害の変化」(坂爪 一幸：早稲田大学教育・総合科学学術院)  
「知的障害特別支援学校における児童生徒数の急増と求められる対応」(尾崎 祐三：南大沢学園特別支援学校)  
「さまざまな福祉サービスにおける利用児数の変化」(大塚 晃：上智大学)  
「現状の医療・福祉・教育サービスへの要望と新たなニーズ」(玉井 邦夫：大正大学)
- ◎**司会**：湯汲英史（社）日本発達障害福祉連盟常務理事・早稲田大学客員教授  
※演題・講演者は変更することもあります。
- ◎**参加費**  
一般4,000円、賛助会員3,600円、学生・本人・家族3,000円
- ◎**申し込み方法**  
参加費振込み確認後、参加証を送付。振込先については要問い合わせ。
- ◎**締め切り**  
定員（400名）になり次第締め切り。
- ◎**申し込み・問い合わせ**  
社団法人 日本発達障害福祉連盟事務局  
[TEL] 03-5275-1128 [Eメール] jlidmf@dream.com